

## 1 概要

名称	茨城県立あすなろの郷		
場所	水戸市杉崎町1460番地		
敷地面積	665, 451㎡	延床面積	29, 745㎡
設置年月日	昭和48年12月		
法的根拠	障害者総合支援法, 児童福祉法		
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者支援施設の運営 (定員462名)</li> <li>・ 医療型障害児入所施設・療養介護事業所の運営 (定員40名)</li> <li>・ あすなろの郷病院の運営 (障害児入所施設に併設)</li> <li>・ 短期入所事業の実施</li> <li>・ 地域生活支援センターの運営 (県内全域の在宅障害者への療育支援/24時間緊急ステイの実施)</li> </ul>		
指定管理者名	社会福祉法人 茨城県社会福祉事業団		
指定管理期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日		
建築物	障害者支援施設:		
耐震診断結果	耐震強度あり	(昭和48年～51年建築) 居住棟 旧棟 (48名定員規模) 7寮 (平成14年建築) 居住棟 新棟 (39名定員規模) 4寮 (平成14年建築) センター棟 (地域生活支援センター)	
	強度不足	医療型障害児入所施設・療養介護事業所: (昭和49年建築) 病棟 (40名定員規模) 1寮 その他: 病院, 訓練棟, サービスセンター棟等	
	対象外	管理棟, 体育館 (いずれもH26年度に耐震改修済) 職員アパート	

## 2 入所者(障害者支援施設)の療育手帳の取得状況 (単位: 人, %)

療育手帳の等級	H17. 4. 1	H21. 4. 1	H28. 4. 1
㊤(最重度)	338(65.6)	346(72.2)	339(76.6)
A(重度)	154(29.9)	122(25.5)	95(21.4)
B(中度)	21(4.1)	11(2.3)	9(2.0)
C(軽度)	2(0.4)	0(0.0)	0(0.0)
合計	515(100.0)	479(100.0)	443(100.0)

※ 障害者支援施設の利用者のみ。

## 【療育手帳の等級と障害の程度について】

- ㊤(最重度)・・・IQが概ね20以下, または身体障害者手帳1級, 2級とIQが概ね35以下の知的障害が重複している者
- A(重度)・・・IQが概ね35以下, または身体障害者手帳1級, 2級, 3級とIQが概ね50以下の知的障害が重複している者
- B(中度)・・・IQが概ね50以下, または身体障害者手帳1級, 2級, 3級, 4級とIQが概ね60以下の知的障害が重複している者
- C(軽度)・・・㊤, A, Bに該当しない者でIQが概ね70以下の者

### 3 入所者(障害者支援施設)の年齢別人数

(単位：人，歳，年)

	H17. 3. 31	H21. 3. 31	H28. 4. 1
70歳～			26 (5.8)
60歳～69歳	62(12.0)	78(16.2)	89(20.1)
内64歳以下	44 (8.5)	32 (6.7)	66(14.9)
50歳～59歳	124(24.1)	134(27.8)	108(24.4)
40歳～49歳	143(27.8)	109(22.7)	112(25.3)
30歳～39歳	115(22.4)	101(21.0)	73(16.5)
20歳～29歳	62(12.0)	52(10.8)	34 (7.7)
10歳～19歳	9( 1.7)	7 (1.5)	1 (0.2)
合計	515	481	443
平均年齢	45.2	46.2	49.4
平均入所期間	18.1	24	23.2

### 4 入所待機者の状況

(1) 現況 (平成28年3月31日現在)

入所待機者数	126名
入所待機者の平均年齢	34.6歳
入所待機者の平均待機期間	3年
入所待機者の最長待機期間	11年10月

※最長待機期間の入所待機者については、入所の打診をしているが服薬調整等で待機者の保護者が入所を辞退している状況。

(2) 入所待機者数の推移

(単位：人，%)

	男性	割合	女性	割合	計
平成20年度末	51	83.6%	10	16.4%	61
平成21年度末	62	85.0%	11	15.0%	73
平成22年度末	74	86.0%	12	14.0%	86
平成23年度末	80	83.3%	16	16.7%	96
平成24年度末	81	78.6%	22	21.4%	103
平成25年度末	85	77.3%	25	22.7%	110
平成26年度末	76	63.9%	43	36.1%	119
平成27年度末	83	65.9%	43	34.1%	126

(参考) あすなろの郷入所待機者の希望状況 (H25.10.1)

(単位：人)

	男	女	計
早期に入所希望	28	9	37
順番が来たら入所希望	42	15	57
将来的に入所希望	8	1	9
入所登録抹消漏れ	4	1	5
計	82	26	108

### (3) 短期入所枠の拡充

家族の方の負担を軽減するため、短期入所枠を26年度から28年度にかけて拡充。  
短期入所定員の拡充数：10名→28名（+18名）

H26年度	H27年度	H28年度	計
6	8	4	18

## 5 県費負担額の推移

平成23年度までに6億円まで削減するよう提言された、あすなろの郷の県費負担額（指定管理料総額から給付費等の収入額を差し引いたもの）については、平成23年度に3.3億円まで削減し、目標を達成している。 (百万円)

区分	H17 (管理委託)	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
指定管理料 (委託料)	3,922	3,379	3,290	3,308	3,390	3,316	2,981	2,879	2,897	3,040	2,963
*県費負担 (計画)	—	1,156	1,082	1,038	774	692	600	600	600	404	404
県費負担 (実績)	1,763	1,153	1,080	1,065	772	657	330	180	329	387	286

※ 県費負担（計画）は、中期経営計画における年度別の県費負担目標額

#### ○主な削減理由

- H17→18 指定管理者制度への移行を機に、経営自立化を目指すため、給与改定（行政職→福祉職）や業務手当の引き下げによる人件費等支出減
- H20→21 新事業体系に移行し介護給費等の単価が上がったことによる収入増
- H22→23 退職給付引当金の積立不足に対する積増措置終了等による支出減

## 6 人件費の推移

(単位：千円)

	人件費	前年度増減	前年度比	H17 比較増減	H17 比
平成17年度	3,130,083	—			
平成18年度	2,659,998	▲ 470,085	▲ 15.0%	▲ 470,085	▲ 15.0%
平成19年度	2,561,260	▲ 98,738	▲ 3.7%	▲ 568,823	▲ 18.2%
平成20年度	2,656,500	95,240	3.7%	▲ 473,583	▲ 15.1%
平成21年度	2,576,674	▲ 79,826	▲ 3.0%	▲ 553,409	▲ 17.7%
平成22年度	2,593,403	16,729	0.6%	▲ 536,680	▲ 17.1%
平成23年度	2,310,742	▲ 282,661	▲ 10.9%	▲ 819,341	▲ 26.2%
平成24年度	2,176,458	▲ 134,284	▲ 5.8%	▲ 953,625	▲ 30.4%
平成25年度	2,186,906	10,448	0.5%	▲ 943,177	▲ 30.1%
平成26年度	2,232,056	45,150	2.1%	▲ 898,027	▲ 28.7%
平成27年度	2,198,849	▲ 33,207	▲ 1.5%	▲ 931,234	▲ 29.8%

※人件費は指定管理料の実績から事業団の自助努力分（退職給与引当金に充当）を除いた金額

## 7 職員数の推移

(単位：人)

区分	H17.4.1	H21.4.1	H28.4.1
正職員	306 (81.4%)	254 (68.5%)	242 (63.9%)
県職員	21	5	3
嘱託等	70 (18.6%)	117 (31.5%)	137 (36.1%)
嘱託職員	39	102	118
臨時職員	31	15	19
計	376	371	379

## 8 職員研修について

### (1) 強度行動障害者への対応

筑波大学の研究員を任期付職員（4年間）として雇用し、強度行動障害者に対する自傷・他害行為等の問題行動の低減を図る支援技術の研究（応用行動学）を実施し、その研究成果を職員や民間施設等に対して研修会・勉強会を実施。

平成26年度からは、元研究員（現東京福祉大学の講師）及び研究員の指導を受けたあすなるの郷の職員が研修会・勉強会を実施。

#### 勉強会・研修会開催回数

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
開催回数	23回	24回	24回	24回	14回	10回
民間施設受講 (延人数)	129	188	253	209	226	322
民間施設受講 (実人数)	31	41	35	39	43	77

### (2) 先進地派遣研修

先進的な福祉施設へ職員を派遣し、支援技術等の向上を図る。終了後、伝達研修を実施。

#### 平成27年度実施内容

目的	派遣期間	参加者
高齢知的障害者への支援	5日間	1名
自閉症及び強度行動障害への支援	4日間	1名
罪を犯した障害者への支援	5日間	1名
利用者の情緒安定に向けた支援	5日間	1名
在宅障害児（者）への療育支援	5日間	1名
超重症児（者）・準超重症児（者）支援	4日間	1名

## 9 登用採用制度

常勤嘱託等で条件を満たした者の正職員登用制度。平成21年度採用から実施。

(人)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
一般採用	6	6	4	6	7	9	13	6
登用採用	5	5	5	5	6	8	10	8
計	11	11	9	11	13	17	23	14

※福祉職のみ

## これまでの県立あすなろの郷にかかる検討の経緯

<p><b>【H8】</b> 県立社会福祉施設等のあり方検討委員会</p>	<p>(構成員) 学識経験者・福祉施設関係者・福祉団体関係者・県保健福祉部等</p> <p>(結果) ○県立社会福祉施設全体のあり方・整備の方針 ○民間ではできないサービスの提供と役割分担を踏まえ再編</p>
---	--

<p><b>【H9・10】</b> 県立知的障害施設問題検討会</p>	<p>(構成員) 学識経験者・福祉関係者・事業団・県保健福祉部等</p> <p>(結果) ○内原厚生園とコロニーあすなろを一体的にとらえて再編整備</p>
---	---

### H15.4 あすなろの郷新棟竣工(内原厚生園廃止)

<p><b>【H19】</b> あすなろの郷あり方検討委員会</p>	<p>(構成員) 学識経験者・民間施設長・育成会・事業団・県保健福祉部</p> <p>(結果) ○H21から知的障害児施設を廃止 ○障害者支援施設の定数の見直し(地域移行の推進) ・H21から定員525名→486名(△39名) ・H24から定員486名→438名(△48名) ○県立施設として維持し、指定管理制度を継続</p>
--	---

<p><b>【H24】</b> あすなろの郷あり方検討会</p>	<p>(構成員) 事業団・県保健福祉部</p> <p>(結果) ○県立施設の適正規模 ・定員462名の維持, 男子寮への転換, 短期入所の拡大 ○経営改善に向けた取組推進 ○次期指定管理の非公募</p>
--------------------------------------	---

<p><b>【H26・27】</b> あすなろの郷あり方ワーキングチーム</p>	<p>(構成員) 民間施設長・育成会・事業団・県障害福祉課</p> <p>(結果) あすなろの郷の必要規模や施設の集約化, 民間法人の活用等について課題を整理 ○主な内容 ・あすなろの郷の役割・特徴 ・民間施設・地域との連携 ・人材確保・育成</p>
--	---

<p><b>【H28～】</b> あすなろの郷検討委員会</p>	<p>(構成員) 学識経験者・民間施設長・育成会・事業団等</p> <p>(結果) 老朽化等の課題につき、建て替えを視野に入れながら、今後のあり方の検討を行う。</p>
--------------------------------------	--